

おはなしの会300回記念 角野栄子講演会



8月5日、あゆむで『魔女の宅急便』の原作者、角野栄子さんの講演会「本好きの子どもを育てるために」が行われました。角野さんが、本を好きになった理由として、父親からの読み聞かせなど、自らの体験を話し、「本は、文字を読み、想像力をはたかせることによってその人の物語になる」とお話いただきました。また、作品作りは期待している読者との必死の戦い、といきいきと話されました。

食とは？生きるとは？ 「玄米せんせいが語る、 食べることは生きること」



8月10日、健康福祉センターで食育トークショー「玄米せんせいが語る、食べることは生きること」が行われました。漫画家の魚戸おさむ先生、健康づくり推進員、スローフード山形の鈴木徳則氏によるトークショーが行われ「人は口から食べることで生きている。口は命の入口。白鷹町の食は豊かなのでそのことを伝えてもらいたい。ただ、伝える側が楽しく伝えることが大事。」と先生の漫画を用いながら話されました。

地域の歴史を知ろう 諏訪堰施設めぐり



8月22日、東根小学校4年生が諏訪堰施設めぐりを行ないました。東根地区の田に水をひくために造られた諏訪堰の歴史を勉強するため、長井橋付近にある頭首工という取水施設から、諏訪堰に沿って施設の見学をし、白鷹町土地改良区の皆さんに歴史などを説明していただきました。児童たちは、機械のない時代に、沼澤伊勢と新野和泉が命をかけて造った諏訪堰が、今も田を豊かにしていることを学びました。

これからの十王を考える 十王塾開講式



8月22日、十王地区公民館で十王塾開講式が行なわれました。十王区と地区公民館の共催で行なわれる事業で、来年7月まで10回の講座を予定しています。開講式では、19人の塾生に塾生証の交付などが行なわれた後、総務課齋藤企画主幹から、まちづくりの基本的な考え方の講話が行なわれました。今後の研修を通じ、これからの十王をどうしていくのか学習していくとのことです。

第27回町民ソフトボール 大会結果

8月1日

一般男子の部

- 第1位 ミラクル(蚕桑)
- 第2位 桜館エリーズ(鮎貝)
- 第3位 鮎っ子(鮎貝)

一般女子の部

- 第1位 蚕桑・鷹山プリティーズ(蚕桑)
- 第2位 鮎貝レディース(鮎貝)

第35回白鷹町勤労者 ソフトボール大会結果

8月21日～22日

- 第1位 白鷹陽光学園
- 第2位 白鷹町役場
- 第3位 佐藤燃料店

